

「 確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫 」  
～ 「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくり ～

I 研究の内容

1 本年度の研究の重点

本校では昨年度より「確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫～『やまなしスタンダード』を取り入れた授業づくり～」を研究主題として校内研究を進めてきた。確かな学力を育成するために、「やまなしスタンダード」の視点を積極的に取り入れ、授業の中に生徒が思考し表現する場面を設定し、自らの力で解決する能力と態度を養う授業、また、言語の能力は子どもたちが他者や社会と関わる上で必要な力であることを踏まえ、言語力の育成や活用を意識し、生徒に考えさせる発問や教材等について日々の授業実践を通して研究を進めているところである。あわせて、「家庭学習チェック表」を取り入れ、家庭の協力を得ながら家庭学習の取り組みにも力を入れている。

2 研究部会

(1) 教科別研究会

- ①「確かな学力の向上」を目指した授業づくり・授業改善
- ②「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくり・授業改善

<分析部会>

- ・全国学力学習状況調査や県学力把握調査など分析と対策→授業改善に生かす
- ・結果分析について、校内で情報共有し、他の教科においても授業改善に生かす

(2) 学年別研究会

- ①Q-U検査の分析→個への対応、集団づくり
- ②家庭学習の定着を図る→「自主学習ノート」の取り組み、家庭学習チェック表

(3) 授業研究

全教職員が同じ視点で授業を観察するために、授業者には次の2つについて、事前に示してもらった。

ア 「やまなしスタンダード」授業づくり7つの視点から、本時は特に何を意識した授業なのか。

イ 「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」の中から、本時は特に何を意識した授業なのか。

◇道徳 2年3組 7月 5日(水)実施

主題名 「人の命に関わることの責任と重み」内容項目3-(1)生命尊重

資料名 写真『ハゲワシと少女』ケビン・カーター撮影

授業者 奥山彩佳 教諭

ア) ②話し合い, 討論, 発表などの言語活動を効果的に取り入れる。

イ) 対話的な学び

◇理科 1年2組 10月18日(水)実施

単元名 いろいろな物質 -密度-

授業者 大澤克弘 教諭

ア) ⑤活用・探究など, 学んだことを別の場面で使うようにしている。

イ) 主体的な学び

◇国語科 1年5組 11月 8日(水)実施

単元名 「竹取物語」

～現代と比べながら登場人物の心情や行動を捉え, 自分の考えをまとめよう～

授業者 日野原 裕子 教諭

ア) ⑤活用・探究など, 学んだことを別の場面で使うようにしている。

イ) 主体的な学び

授業後の研究会はワークショップ方式を採用し, 全員参加型の研究会を展開している。小グループで可視化しながら, 活発な意見交換をすることで, 教職員が主体的に研究を進めることができる。

#### (4) 学習会

◇ICT学習会「校務支援ソフトの活用」について 1月31日(水)実施

◇「特別の教科 道徳」実施に向けて学習会 7月 5日(水)実施

## II 成果と課題

### 1 成果

- ・「授業者だけの研究授業であってはならない」を合言葉に, 全職員が同じ視点で授業を見つめ, 成果や課題をより具体的に把握・共有することができた。
- ・家庭学習について, 「家庭学習チェック表」を作成し, 家庭の協力を得ながら取り組むとともに, 生徒, 保護者, 教師がより意識を高めることができた。
- ・ICT学習会については, ICTが導入される以前からその活用に関する学習を進めることができ, 近い将来に備えることができた。

### 2 課題

- ・「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくりには高い意識をもって取り組んでいるが, 今後は中身・質の向上を図っていく必要がある。
- ・家庭学習について, 習慣化できない子への指導をはじめ, 授業との有機的な結びつきなどさまざまな課題について, 全校体制で改善に努めていく。
- ・今年度「特別の教科 道徳」実施に向けて学習会を行ったが, 今後も道徳を含め, 新学習指導要領への準備を進める。

## III 成果物

- ・学習指導案(1年国語・理科・2年道徳)
- ・家庭学習チェック表

(研究主任 立川慶樹)